

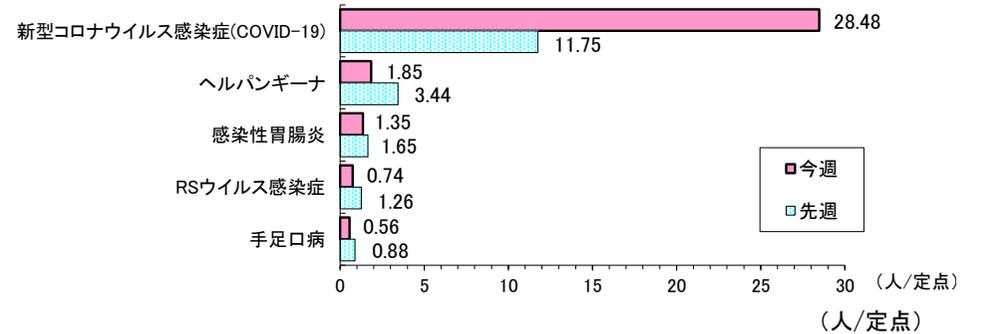


【第33週の発生動向】

<定点把握対象疾患(週報)・前週比>

1. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、県全体で2.4倍に増加しています。保健所別では、全ての保健所で増加しています。
2. ヘルパンギーナは、県全体で46%減少しています。保健所別では、能代で増加、秋田市、大館、北秋田、秋田中央、由利本荘、大仙、横手、湯沢で減少しています。
3. 感染性胃腸炎は、県全体で18%減少しています。保健所別では、大館、能代、大仙で増加、秋田市、北秋田、横手、湯沢で減少しています。

秋田県の定点医療機関における上位5疾患の発生規模



<定点把握対象疾患(週報)>

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第32週	第33週	増減	第32週	第33週	増減	第32週	第33週	増減	第32週	第33週	増減	第32週	第33週	増減	第32週	第33週	増減	第32週	第33週	増減	第32週	第33週	増減	第32週	第33週	増減	第32週	第33週	増減
インフルエンザ	0.10	0.33	↗	0.18	0.82	↗							0.50	0.25	↘		0.67	↗		0.33	↗		0.14	↗	0.20		↘			
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	11.75	28.48	↗	22.36	40.27	↗	5.67	14.17	↗	7.33	28.33	↗	13.00	33.75	↗	7.50	25.50	↗	5.00	22.83	↗	11.57	35.86	↗	6.60	16.80	↗	17.00	27.00	↗
RSウイルス感染症	1.26	0.74	↘	1.14	0.71	↘		0.25	↗							2.25		↘	0.75	0.50	↘	2.50	1.75	↘	2.67	2.67		1.67	0.67	↘
咽頭結膜熱		0.12	↗		0.29	↗																	0.25	↗					0.33	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.15	0.15		0.29	0.43	↗	0.25	0.25			0.50	↗							0.25		↘				0.33		↘			
感染性胃腸炎	1.65	1.35	↘	4.29	3.00	↘		0.50	↗	4.00	1.50	↘	2.67	4.33	↗							0.50	0.75	↗	1.33	0.33	↘	1.33	1.00	↘
水痘		0.09	↗		0.14	↗		0.25	↗											0.25	↗									
手足口病	0.88	0.56	↘		0.57	↗								0.33	↗							6.75	3.25	↘	0.67	0.33	↘	0.33		↘
伝染性紅斑	0.03		↘	0.14		↘																								
突発性発しん	0.06	0.15	↗		0.14	↗		0.25	↗										0.25	0.50	↗	0.25	0.25							
ヘルパンギーナ	3.44	1.85	↘	2.29	1.00	↘	6.25	3.75	↘	5.50	4.00	↘	2.67	3.33	↗	1.25	0.25	↘	4.00	1.25	↘	3.25	0.75	↘	5.00	2.67	↘	2.67	2.00	↘
流行性耳下腺炎	0.06		↘	0.14		↘																0.25		↘						
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*											*	*	
流行性角結膜炎	0.43	0.14	↘	0.33		↘				*	*		*	*		*	*		1.00	1.00					1.00		↘	*	*	
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎																*	*													
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) ・表の数値は、定点医療機関から報告された患者報告数を定点医療機関数で除した値(定点あたり患者報告数)を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
 ・今週の保健所別患者報告数、定点医療機関数などは2ページに掲載しています。
 ・「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



【第33週の保健所別報告数】

<患者報告数>

定点種別	疾患名	秋田県		秋田市		大館		北秋田		能代		秋田中央		由利本荘		大仙		横手		湯沢	
		患者報告数	定点あたり患者報告数																		
インフルエンザ／COVID-19定点	インフルエンザ	17	0.33	9	0.82					1	0.25	4	0.67	2	0.33	1	0.14				
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	1,481	28.48	443	40.27	85	14.17	85	28.33	135	33.75	153	25.50	137	22.83	251	35.86	84	16.80	108	27.00
小児科定点	RSウイルス感染症	25	0.74	5	0.71	1	0.25							2	0.50	7	1.75	8	2.67	2	0.67
	咽頭結膜熱	4	0.12	2	0.29											1	0.25			1	0.33
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	0.15	3	0.43	1	0.25	1	0.50												
	感染性胃腸炎	46	1.35	21	3.00	2	0.50	3	1.50	13	4.33					3	0.75	1	0.33	3	1.00
	水痘	3	0.09	1	0.14	1	0.25							1	0.25						
	手足口病	19	0.56	4	0.57					1	0.33					13	3.25	1	0.33		
	伝染性紅斑																				
	突発性発しん	5	0.15	1	0.14	1	0.25							2	0.50	1	0.25				
	ヘルパンギーナ	63	1.85	7	1.00	15	3.75	8	4.00	10	3.33	1	0.25	5	1.25	3	0.75	8	2.67	6	2.00
	流行性耳下腺炎																				
川崎病																					
眼科定点	急性出血性結膜炎							*	*	*	*	*	*							*	*
	流行性角結膜炎	1	0.14					*	*	*	*	*	*	1	1.00					*	*
基幹定点	細菌性髄膜炎											*	*								
	無菌性髄膜炎											*	*								
	マイコプラズマ肺炎											*	*								
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)											*	*								
	感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)											*	*								

* 定点あたり患者報告数(人/定点)は、1週間(月～日曜日)のうち定点医療機関から報告された患者数を定点医療機関数で割った値を示します。

・「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は当該週における患者の報告がなかったことを示します。

<定点医療機関数>

定点種別	秋田県	秋田市	大館	北秋田	能代	秋田中央	由利本荘	大仙	横手	湯沢
インフルエンザ／COVID-19定点	52	11	6	3	4	6	6	7	5	4
小児科定点	34	7	4	2	3	4	4	4	3	3
眼科定点	7	3	1	0	0	0	1	1	1	0
基幹定点	8	1	1	1	1	0	1	1	1	1



<全数把握対象疾患>

類型	疾患名	1週-32週		33週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	8415	42	
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ	1		
	細菌性赤痢	23		
	腸管出血性大腸菌感染症	1815	11	
	腸チフス	26		
	バラチフス	6		
四類	E型肝炎	368	4	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	34	1	
	エキノкокクス症	9		
	エムボックス	186		
	黄熱			
	オウム病	6		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	13		
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシオイデス症	1		
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	104		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			
	チクングニア熱	2		
	つつが虫病	108	6	
	デング熱	59		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1, H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			

類型	疾患名	1週-32週		33週
		全国	秋田	秋田
四類	日本紅斑熱	226		
	日本脳炎	1		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	1		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症			
	マラリア	11		
	野兔病			
	ライム病	18		
	リッサウイルス感染症			
	リフトバレー熱			
	類鼻疽			
	レジオネラ症	1291	13	
レプトスピラ症	8			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	304		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	155	1	
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1109	13	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	37		
	急性脳炎	335		
	クリプトスポリジウム症	5		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	90		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	511	3	
	後天性免疫不全症候群	595	1	
	ジアルジア症	30	1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	339	4	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	11		
	侵襲性肺炎球菌感染症	1108	11	
	水痘(入院例に限る)	238	3	
	先天性風しん症候群			
	梅毒	9213	26	
	播種性クリプトコックス症	106	1	
破傷風	65	1		
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	79			
百日咳	568	14		
風しん	11			
麻しん	22			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	11			

<全数把握対象疾患>

・今週は報告がありませんでした。

感染症に関するお知らせ

水害発生時の感染症対策について

大雨などによる土砂災害、家屋の浸水等の後は、感染症のリスクが高まります。がれきや汚泥の除去作業を行う場合には、レジオネラ症や破傷風等の感染症に注意が必要です。

■予防のポイント

- ・作業時は、けが防止のため、長袖、長ズボン等の素肌を露出しない服装で行いましょう。
- ・丈夫な手袋、長靴、安全靴、保護めがね等を身につけ、水や土、汚染された廃材などを直接触ったり、くぎなどを踏み抜いたりしないよう体を保護してください。
- ・土ぼこりやエアロゾル(細かい水滴)の吸い込みを防ぐため、マスクを着用しましょう。
- ・休憩時や作業終了後には、石けんと流水でよく手を洗ってください。
- ・発熱、傷の化膿、口が開きにくくなる(破傷風の初期症状)等の症状がみられた場合には、早急に医療機関を受診しましょう。

■水害時の衛生対策について、県ホームページで紹介しています。

美の国あきたネット:水害時の衛生対策

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/27182>

感染症の集団発生報告

感染性胃腸炎の集団発生報告が1件ありました。

No.	管轄保健所	施設種別	報告日	有症者数			把握期間	主な症状
				利用者(園児、入所者等)	職員	計		
1	秋田市	教育・保育施設	8/18	58名のうち12名	22名のうち0名	12名	8/10～8/17	下痢

※社会福祉施設等における、原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

※新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の集団発生報告は4ページに、ヘルパンギーナの集団発生報告は6ページに掲載しています。

※「教育・保育施設」とは幼稚園、保育所、認定こども園等を指します。



2023年度 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)情報

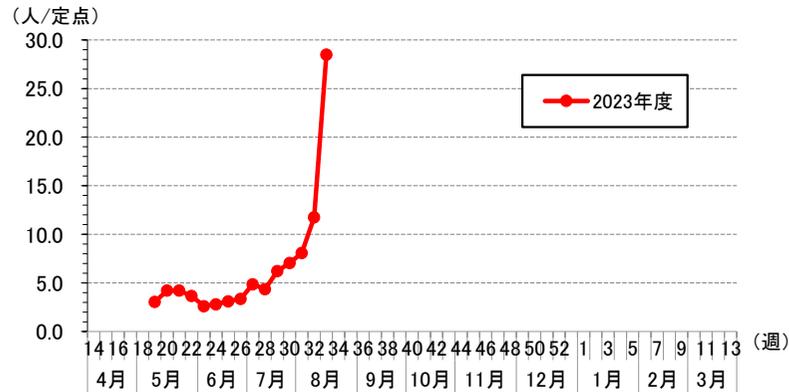


図1 秋田県におけるCOVID-19の定点あたり患者報告数

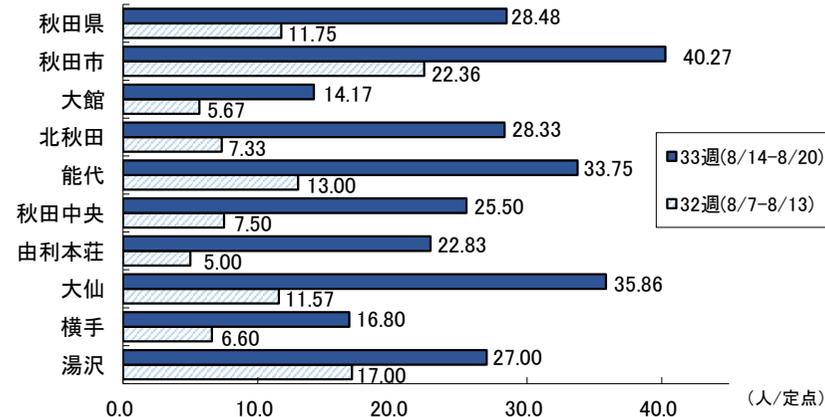


図2 秋田県各保健所におけるCOVID-19の定点あたり患者報告数

- ・定点あたり患者報告数は、1週間のうち(月～日曜日)定点医療機関から報告された患者数を定点医療機関数で割った値を示します。
- ・保健所別患者報告数、定点医療機関数は2ページに掲載しています。

社会福祉施設等における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の集団発生状況

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の集団発生報告が14件ありました。

No	管轄保健所	施設種別	報告日	感染者数(疑い含む)			把握期間	主な症状
				利用者(園児、入所者等)	職員	計		
1	秋田市	高齢者施設	8/14	63名のうち13名	39名のうち3名	16名	8/9～8/14	発熱、嘔吐、下痢、咳
2	秋田市	高齢者施設	8/14	14名のうち4名	18名のうち9名	13名	8/9～8/14	発熱、咽頭痛、咳、嘔吐、下痢
3	由利本荘	高齢者施設	8/14	90名のうち23名	49名のうち3名	26名	8/4～8/14	発熱
4	大仙	高齢者施設	8/14	38名のうち7名	44名のうち4名	11名	7/30～8/12	発熱、咽頭痛
5	秋田市	高齢者施設	8/15	84名のうち8名	70名のうち5名	13名	8/3～8/14	発熱、頭痛、咽頭痛、咳、嘔吐
6	大仙	教育・保育施設	8/15	164名のうち5名	49名のうち9名	14名	8/5～8/15	発熱、咳、咽頭痛
7	大仙	高齢者施設	8/15	17名のうち8名	13名のうち4名	12名	8/9～8/15	発熱、咳、鼻汁
8	湯沢	社会福祉施設	8/15	74名のうち8名	64名のうち2名	10名	8/13～8/15	熱、咽頭痛
9	秋田市	社会福祉施設	8/16	34名のうち11名	13名のうち4名	15名	8/7～8/13	発熱、頭痛、咽頭痛、咳、喀痰
10	秋田市	高齢者施設	8/16	28名のうち5名	22名のうち5名	10名	8/9～8/15	発熱、咽頭痛、咳
11	横手	高齢者施設	8/16	75名のうち8名	48名のうち2名	10名	8/12～8/16	発熱、咽頭痛
12	能代	医療機関	8/18	40名のうち9名	37名のうち7名	16名	8/17～8/18	咽頭痛、咳、鼻汁、発熱、頭痛
13	横手	高齢者施設	8/18	97名のうち7名	15名のうち4名	11名	8/8～8/18	発熱、咳、咽頭痛
14	秋田市	高齢者施設	8/19	71名のうち5名	53名のうち5名	10名	8/12～8/18	嘔吐、発熱、咳、鼻声、鼻閉

【2023年度(5月8日～)の累計報告数】73施設(教育・保育施設6、社会福祉施設9、高齢者施設48、医療機関10)

※社会福祉施設等における、原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

※「教育・保育施設」とは幼稚園、保育所、認定こども園等を指します。



<感染症特別対策室からのお願い>

【はじめに】

新型コロナウイルス感染症の1定点当たりの患者報告数は、8月14日から8月20日までで、28.48と前週比2.4倍となり、5週連続で増加しています。県民の皆さまには感染拡大防止へのご協力をお願いします。

【基本的な感染対策等】

○5類感染症へ移行し、感染状況が落ち着いていた時期もあったため、感染対策への意識が低くなっている可能性があります。ウイルスはなくなっていないので、引き続き、換気や手洗い・手指消毒、医療機関や高齢者施設の訪問の際など、場面に応じたマスクの着用等の基本的な感染対策に気をつけていただくようお願いいたします。

○最近、連日猛暑日が続く、冷房の効いた室内で過ごしている方が多いと思いますが、多くの人が集まっている場合などは、定期的な換気を心がけてください。

【高齢者のいるご家族等へのお願い】

高齢者は重症化するリスクがあります。高齢者と面会等を予定されている方は、体調を整え、感染対策に特にご配慮いただくようお願いいたします。

【医療ひっ迫を避ける行動のお願い】

○現在、医療機関を受診する人が増加しており、また、夜間や休日などは、特定の医療機関に集中しています。症状が出た場合に備え、検査キットをあらかじめ準備しておき、自己検査で感染が確認された場合には、重症化リスクがなく症状の重くない方は、市販の解熱鎮痛薬などにより、自宅療養することなどを改めてお願いします。

○医療のひっ迫を防ぐために、従業員や生徒・児童等に対し医療機関の検査結果を求めたり、治療の証明書を求めたりすることなどは避けていただくようお願いいたします。

○医療機関に連絡してから受診くださるようお願いいたします。また、体調が悪化した際などのために、県のコロナ専用ポータルサイトなどで、受診できる医療機関を掲載しています。受診相談に関しては、総合案内窓口のほか、情報が携帯電話で得られる自動音声案内やLINE相談も活用いただきたいと思います。

【県民の皆さまの健康を守るために】

県民の皆さまにおかれては、一人ひとりができる感染対策を続けながら、感染に備えた事前の準備や、受診のしかたなどに気を配っていただき、通常医療も含めた医療体制のひっ迫回避にご協力をいただくようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症

令和5年8月

この夏の感染症対策のポイント

- ① 発熱等の症状がある場合は、必ず電話してから受診してください。
- ② 医療のひっ迫を避けるため、医療機関に検査結果や治療の証明書を求めないでください。

基本的な感染対策・体調管理

- ✓ 高齢の方と会う場合や大人数で集まる場合は、基本的な感染対策を心がけて体調を整えるようにしましょう。
- ✓ 通院・高齢者施設訪問時や混雑した電車・バス利用時は、マスクの着用など各自感染対策をお願いします。



※厚生労働省「夏の感染症対策のポイント」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html 写真もとに秋田県作成

検査キット・解熱鎮痛薬等の準備

- ✓ かかりつけ薬剤師・薬局にご相談ください。
- ✓ 体温計・日持ちする食料も用意しておきましょう。



連絡先の確認

- ✓ 体調不良時に備え、連絡先を確認して控えておきましょう。

総合案内窓口 同様の内容に応じた案内があります。 地域によっては、医師または看護師が対応します。	8時～17時 17時～翌8時	☎018-895-9176 ☎018-866-7050
自動音声案内 ナビゲーションで知りたい情報の番号を選択すると、ウェブサイトのURLが携帯電話に送信されます（音声通話では利用できません）。	☎0570-011-567	LINE相談 「新型コロナウイルス感染症 秋田県対策ポータルサイト」 必要な情報がLINEで受け取れます。



外来対応
医療機関



秋田県新型コロナウイルス感染症
保健医療情報ポータルサイト

(秋田県福祉政策課感染症特別対策室作成リーフレット)

■詳細について、次の秋田県ウェブサイトをご覧ください。
 美の国あきたネット:この夏の感染症対策のポイント
<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/72664>



2023年度 ヘルパンギーナ情報

警報レベルの保健所管内があります

ヘルパンギーナは、エンテロウイルスを原因とするウイルス性咽頭炎で、代表的な夏かぜの1つです。秋田県の今週の定点あたり患者報告数は1.85となり、先週(3.44)より46%減少しました(図1)。3週続けて減少傾向にあり(図2)、秋田県全体では警報解除となりましたが、大館、北秋田、横手、湯沢の4保健所管内では警報レベルが継続しています。夏休みの終了等により、他の保健所管内でも再び流行が拡大する可能性がありますので、引き続き注意が必要です。

■症状

- ・40℃近い高熱とともにのどや口腔に痛みを伴う水疱性の発疹が現れます。
- ・患者の多くは1週間程度で回復しますが、中には無菌性髄膜炎などを併発する場合があります。

■予防のポイント

- ・手洗いが有効です。便には、回復後も2～4週間、ウイルスの排出が続くため、特にトイレ後やおむつ交換後の手洗いはしっかり行いましょう。

- ⚠ のどの強い痛みにより飲食が困難な場合は、脱水症状などを起こさないように注意しましょう。
- ⚠ 意識障害などの重い症状が見られたら、速やかに医療機関を受診してください。

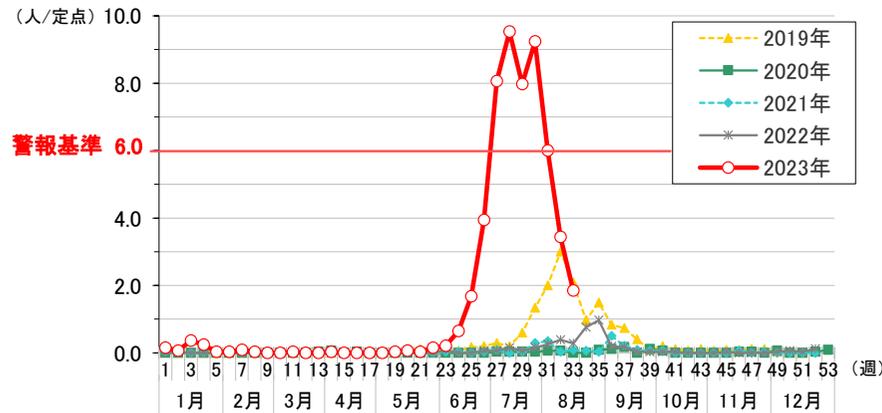


図1 秋田県におけるヘルパンギーナの定点あたり患者報告数

ヘルパンギーナの集団発生状況

ヘルパンギーナの集団発生報告はありませんでした。

【2023年度の累計報告数】 27施設 (教育・保育施設27)

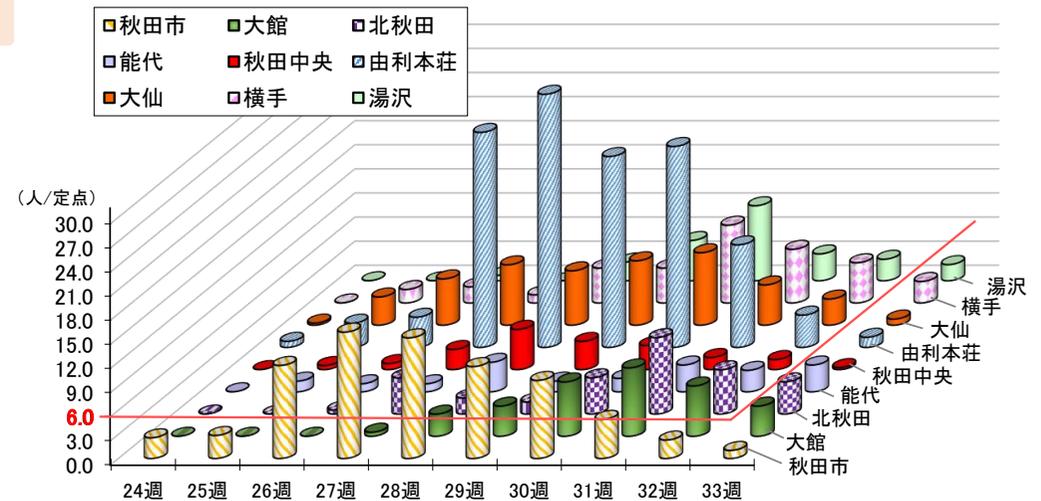


図2 ヘルパンギーナの保健所別定点あたり患者報告数



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
手足口病	-	大仙(3.25)
ヘルパンギーナ	-	大館(3.75)、北秋田(4.00)、 横手(2.67)、湯沢(2.00)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		